

施工説明書

ランターナ

対象品番：ZZ-K1D201B, ZZ-K1D201W, ZZ-K1D202B, ZZ-K1D202W



-
- 施工説明書は大切に保管してください。
 - ご使用前に「[ご注意](#)」(3～5ページ)を必ずお読みください。
 - 仕様およびデザインは、アップデートなどにより予告なしに変更となる場合があります。
-

もくじ



もくじ	2
ご注意	3
安全上のご注意（置き型）	3
安全上のご注意（吊り型）	4
吊り型に関する施工上のご注意	5
各部の名称	6
置き機構の名称	6
吊り機構の名称	7
本体の施工	8
置き型の施工	8
吊り型の施工	9

ご注意



安全上のご注意（置き型）

















人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
















■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

 警告	死亡や重傷を負うおそれがある内容です
■ 電源コード・プラグ	
	●電源コードや電源プラグを破損するようなことはしない（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない） 傷んだまま使用すると、感電、ショート、火災のおそれがあります。 ◎電源コードや電源プラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	●ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない 感電のおそれがあります。
	●電源プラグのほりこりなどは定期的にとる プラグにほりこりなどがたまり、湿気などで絶縁不良となり、火災のおそれがあります。 ◎電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。
	●電源プラグは根元まで確実に差し込む 差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災のおそれがあります。 ◎傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。
	●電源プラグを抜くときは、必ずアダプタ本体を持って抜く 電源コードを引っ張るとコードが破損し、火災、感電のおそれがあります。
	●ACアダプタは必ず付属のものを使用する 発熱による火災や破損による感電のおそれがあります。
■ 取付面	
	●調光機能・虫スイッチ・センサー付きスイッチ（明暗・人感など）の場合は、一般の入切用スイッチに交換する 火災のおそれがあります。また、調光機能に対応した機器ではないため、本体の故障に繋がります。 ◎販売店、工事に交換を依頼してください。（取り外し、交換には資格が必要です。）
■ その他	
	●布や紙などの燃えやすいものをかぶせたりしない 火災のおそれがあります。
	●器具のすき間に金属類や燃えやすいものを差し込まない 火災、感電のおそれがあります。
	●洗浄液や水などを本体に吹きかけない （液体が機器内部に入る行為は行わないでください） 電子基板などに水分が付着すると発火するおそれがあります。
	●コード、シェードなどにぶらさがったり、無理な力をかけない 落下によるけがのおそれがあります。
	●心臓ペースメーカーを装着している方は、装着部から22 cm以内で本製品を使用しない 本製品からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。
	●器具を改造したり、部品交換をしない 火災、感電によるけがのおそれがあります。
	●交流100ボルトで使用する 過電圧を加えると過熱し、火災・感電のおそれがあります。
	●異常を感じた場合、速やかに電源を切る 異常状態が取まったことを確認し、販売店にご相談ください。
電源プラグを抜く	



 注意	軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容です
	●照明器具には寿命があります。外観に異常がなくても内部の劣化は進行していることがあります。1年1回はオンラインマニュアルに添付されている点検チェックシートに従って点検してください。点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。
	●付属の梱包材は取り除いて使用してください。そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。
	●長時間本製品から離れる場合は電源を切ってください。
	●お手入れの際は、シェードの縁で指を切らないようにご注意ください。
	●本製品は日本国内専用です。
	●点灯中や消灯直後は本製品にさわらないでください。やけどの原因となることがあります。
	◎お手入れは電源を切り、本製品が冷めてから行ってください。
	●浴室など湿気が多い場所や屋外で使用しないでください。
	また濡れた手で触らないでください。火災、感電の原因となることがあります。
	◎本製品は防湿、防雨型ではありません。
	●温度の高くなるものを本製品の真下に置かないでください。火災の原因となることがあります。
	◎本製品の真下にストーブなどを置かないでください。
	●シェードを故意に回したり、揺らしたりしないでください。落下、故障の原因となることがあります。
	●LEDを直視しないでください。目の痛みの原因となることがあります。
	●メンテナンスは必ず電源を切ってから行う 感電によるけがのおそれがあります。
	●機器上部の通気孔に体を近づけない 機器内部の冷却を妨げ、機器停止するおそれがあります。
	●輸送時には、指定の梱包箱で梱包を行う 指定の梱包を行わない場合、機器の破損のおそれがあります。
	●器具を倒した状態で使用しない ●器具にもたれたり物をぶつけたりしない 故障の原因となることがあります。 ●器具破損の原因となります。
	●LEDを直視しない 目の痛みの原因となることがあります。
	●この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には、使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
	●オンラインマニュアルや本書、施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害を生じた場合は、当社では、責任を負えません。

ご注意



安全上のご注意（吊り型）











人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。









■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

	警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

	警告 死亡や重傷を負うおそれがある内容です
<p>■ 電源コード・プラグ</p> <p> 禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電源コードや電源プラグを破損するようなことはしない（傷つけたり、加工したり、器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない） ●傷んだまま使用すると、感電、ショート、火災のおそれがあります。 ○電源コードや電源プラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。 ●コンセントの定格を超える使い方をしない ●たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災のおそれがあります。 <p> ぬれ手禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない ●感電のおそれがあります。 <p> 必ず守る</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグのほこりなどは定期的にとる ●プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災のおそれがあります。 ○電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。 ●電源プラグは根元まで確実に差し込む ●差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災のおそれがあります。 ○傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。 ●電源プラグを抜くときは、必ずアダプタ本体を持って抜く ●電源コードを引っ張るとコードが破損し、火災、感電のおそれがあります。 ●AC アダプタは必ず付属のものを使用する ●発熱による火災や破損による感電のおそれがあります。 <p>■ 取付面</p> <p> 必ず守る</p> <ul style="list-style-type: none"> ●次のような場所に取り付けけない ●火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。 ●補強のない場所（ベニヤ板や石膏ボードなど） ・ 傾斜した場所 ○この器具は水平天井直下吊り下げ専用です。 ●耐荷重 15 kg 以下の場所には取り付けけない ●調光機能・壁スイッチ・センサー付きスイッチ（明暗・人感など）の場合は、一般の入切用スイッチに交換する ●火災のおそれがあります。また、調光機能に対応した機器ではないため、本体の故障に繋がります。 ○販売店、工務店に交換を依頼してください。（取り外し、交換には資格が必要です） <p>■ 配線器具</p> <p> 禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●がたついたり、破損している配線器具（ローゼット、引掛けシーリング）には取り付けけない ●火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。 ●適正な状態でない配線器具には無理に取り付けけない ●落下によるけがのおそれがあります。 ●斜めに取り付けられたもの ・ 電源端子露出タイプ <p>■ その他</p> <p> 禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●布や紙などの燃えやすいものをかぶせたりしない ●火災のおそれがあります。 ●器具のすき間に金属類や燃えやすいものを差し込まない ●火災、感電のおそれがあります。 ●洗浄液や水などを本体に吹きかけない ●（液体が機器内部に入る行為は行わないでください） ●電子基板などに水分が付着すると発火のおそれがあります。 ●コード、シェードなどにぶらさがったり、無理な力をかけない ●落下によるけがのおそれがあります。 ●心臓ペースメーカーを装着している方は、装着部から 22 cm 以内で本製品を使用しない ●本製品からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。 <p> 分解禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●器具を改造したり、部品交換をしない ●火災、感電によるけがのおそれがあります。 <p> 必ず守る</p> <ul style="list-style-type: none"> ●交流 100 ボルトで使用する ●過電圧を加えると過熱し、火災・感電のおそれがあります。 ●ワイヤーは必ず直径 1mm 以上のステンレスワイヤーを使用する ●落下によるけがのおそれがあります。 <p> 電源プラグを抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> ●異常を感じた場合、速やかに電源を切る ●異常状態が収まったことを確認し、販売店にご相談ください。 	

	注意 軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容です
<p> 必ず守る</p> <ul style="list-style-type: none"> ●照明器具には寿命があります。外観に異常がなくとも内部の劣化は進行していることがあります。1年1回はオンラインマニュアルに添付されている点検チェックシートに従って点検してください。点検せずに長期間使用し続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。 ●付属の梱包材は取り除いて使用してください。そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。 ●長時間本製品から離れる場合は電源を切ってください。 ●お手入れの際は、シェードの縁で指を切らないようにご注意ください。 ●本製品は日本国内専用です。 <p> 接触禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●点灯中や消灯直後は本製品にさわらないでください。やけどの原因となることがあります。 ○お手入れは電源を切り、本製品が冷めてから行ってください。 <p> 水濡れ禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しないでください。 ●また濡れた手で触らないでください。火災、感電の原因となることがあります。 ○本製品は防湿、防雨型ではありません。 <p> 禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●温度の高温なものを本製品の真下に置かないでください。火災の原因となることがあります。 ○本製品の真下にストープなどを置かないでください。 ●シェードを故意に回したり、揺らしたりしないでください。落下、故障の原因となることがあります。 ●LED を直視しないでください。目の痛みの原因となることがあります。 <p> 必ず守る</p> <ul style="list-style-type: none"> ●吊金具、カバーは確実に取り付ける ●機器上部の通気孔に体を近づけない ●落下してけがの原因となることがあります ●機器内部の冷却を妨げ、機器停止するおそれがあります。 ●ワイヤーの切断面は危険ですので、注意して取り扱ってください。 ●眼がぶつかりそうなところに設置しない ●けがの原因となることがあります。 ●頭をぶつけてけがの原因となることがあります。 ●メンテナンスは必ず電源を切ってから行う ●指定の梱包材を行わない場合、機器の破損のおそれがあります。 ●LED を直視しない ●目の痛みの原因となることがあります。 <p> 禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●器具を倒した状態で使用しない ●器具にもたれたり物をぶつたりしない ●故障の原因となることがあります。 ●器具破損の原因となります。 <p> 注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ●この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。 ●この場合には、使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 ●オンラインマニュアルや本書、施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害を生じた場合は、当社では、責任を負いません。 	

ご注意

吊り型の取り付けは、施工業者にご依頼ください。

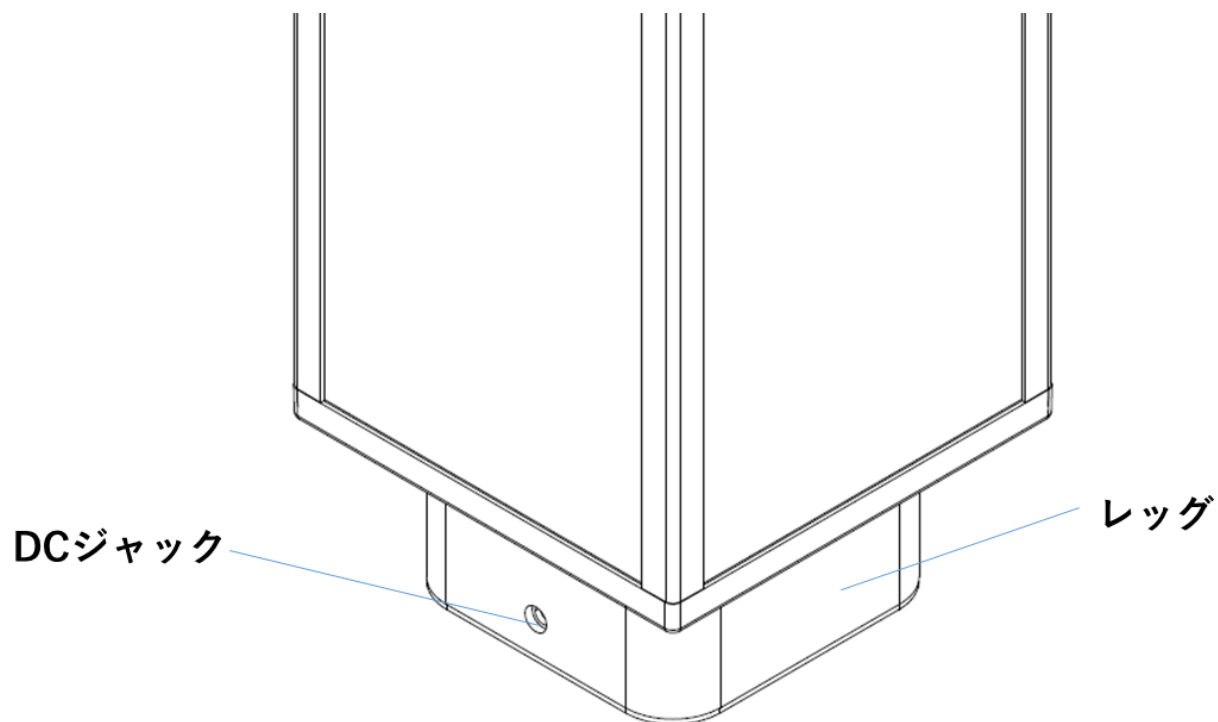
吊り型に関する施工上のご注意

- ・ 脚立で施工可能な高さに設置してください。
- ・ 取り付け及びメンテナンスは、必ず電源を切ってから行ってください。
- ・ 高所作業の際は、落下及び転倒に十分ご注意ください。
- ・ 耐荷重 15kg 以下の場所には取付けないでください。
- ・ $\Phi 1\text{mm}$ 以上のステンレスワイヤー 2 本で、取り付けてください。
- ・ ワイヤーを固定するリーズロックは、
本体荷重(2.45kg)に耐える部品及び工具で固定してください。

※リーズロックは、使用するワイヤーの太さに適合するものを選択して
使用上の注意をよく確認してお使いください。

各部の名称

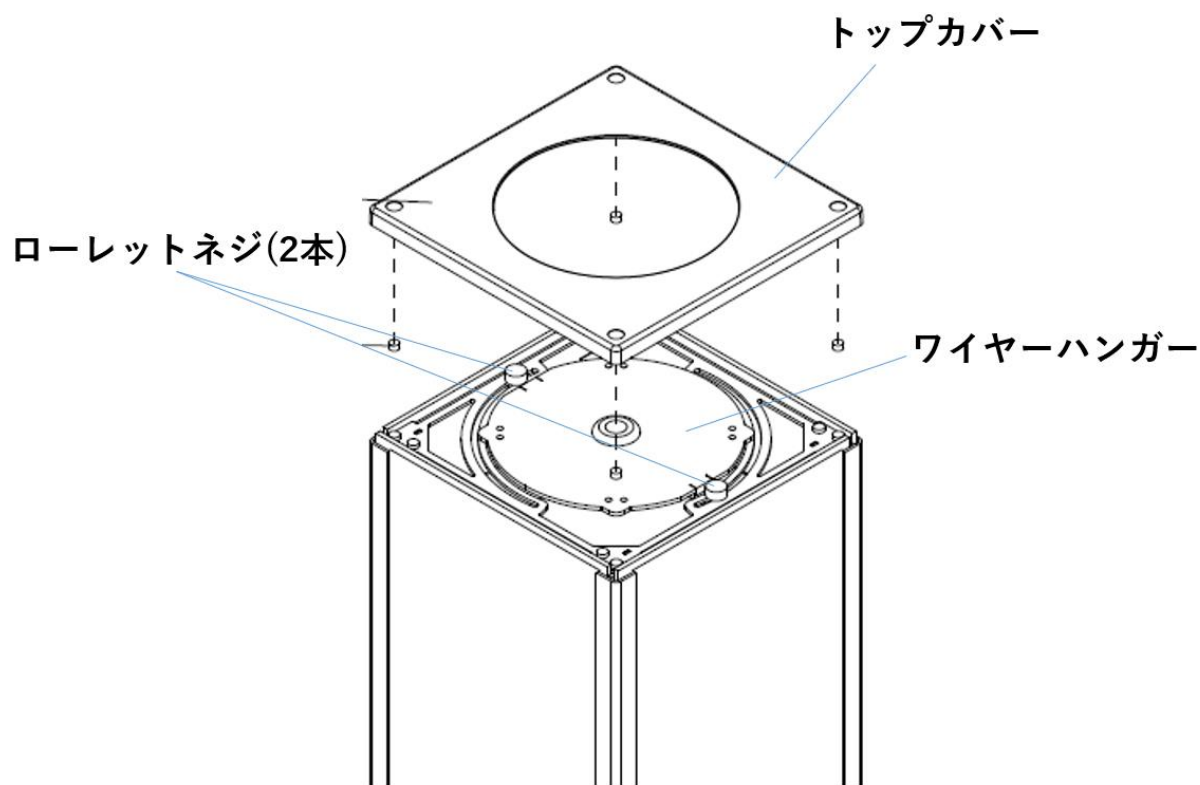
置き機構に関する部位の名称は下記の通りです。



本体重量：2.80kg (ACアダプター含む)

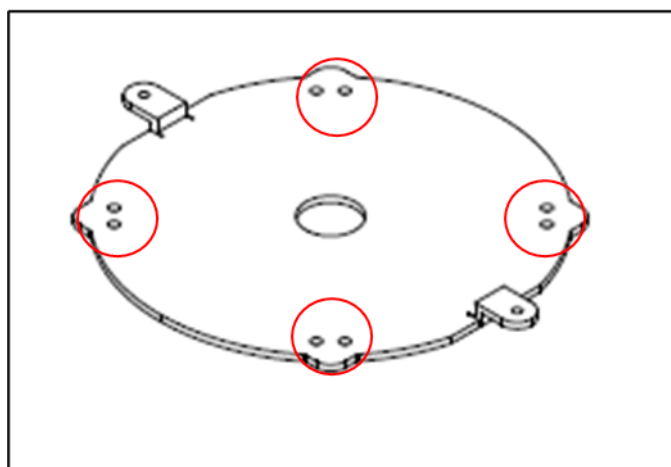
各部の名称

吊り機構に関する部位の名称は下記の通りです。



本体重量：2.45kg (ACアダプター含む)

ワイヤーを通す穴 4か所



本体の施工

置き型の施工方法は、下記の通りです。

1 平らな場所に置く

- ・レッグを下にして平らな場所に置いてください。



2 電源ケーブルの接続

- ・電源ケーブルを本体の DC ジャックに挿入してください。
- ・DC ジャックの根元まで確実に差し込んでください。
- ・電源ケーブルに足が引っ掛からないように設置してください。
- ・電源スイッチを ON するとご使用いただけます。



本体の施工

吊り型の施工方法は、下記の通りです。

1 電源ケーブルの準備

- ・本体からトップカバーとワイヤーハンガーを取り外します。
 - ・写真の通り、トップカバーとワイヤーハンガーの穴から電源ケーブルを通します。
- ※フランジを使用する場合は、フランジの穴にも通しておきます。



2 電源ケーブルの接続

- ・電源ケーブルを本体の DC ジャックに挿入してください。
- ・DC ジャックの根元まで確実に差し込んでください。



3 ワイヤーの取り付け①

- ・ワイヤーは、対角線2か所に2本のワイヤーで吊るします。
- ・ワイヤーの切断面は危険ですので、注意して取り扱ってください。けがの原因となることがあります。



4 ワイヤーの取り付け②

- ・ワイヤーを取り付けたら、トップカバーとワイヤーハンガーを本体に取り付けます。



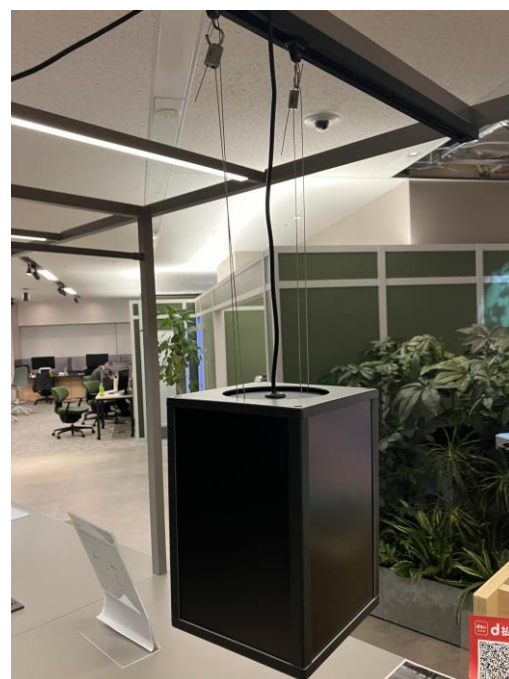
5 天井への取り付け

- ・2本のワイヤーを天井に取り付けます。
- ・2本のワイヤーの長さを調整して、本体を水平にします。
- ・電源コードが、本体の重さで引っ張られないようにしてください。

※ダクトレールに吊る場合の推奨吊りフック
東芝製 NDR8544L (外れ防止機能付)

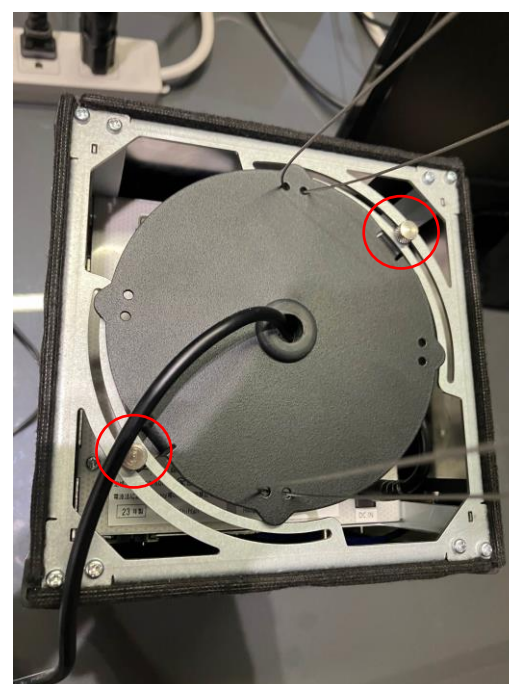


※推奨リーズロック
ニッサチェーン製 Y-290



6 回転の調整

- ・設置角度は、2本のローレットネジを緩め、ワイヤーハンガーを回すことで調整します。
- ・電源スイッチを ON するとご使用いただけます。



オプション 専用フランジ

- ・ダクトレール専用フランジを使用することで、ACアダプターを収納することが可能です。
- ・ACアダプターを収納した後、ローレットネジでダクトレールに固定します。

※推奨のコンセント変換プラグ
パナソニック製 DH8540P



※下記写真の通り、ACアダプターとケーブルを
収納してください。



